

沿線の魅力ある施設をPR

有名画家（＝レンブラント）の作品

「広つば帽を被った男」のラッピング車両が

高速バスとして好評運行中！

京成グループのちばグリーンバス(本社:千葉県佐倉市)では、17世紀オランダを代表する画家レンブラント・ファン・レインの作品「広つば帽を被った男」をデザインしたラッピング車両を高速バスとして運行いたしております。

これは、平成22年9月1日から運行開始いたしましたマイタウン・ダイレクトバス「ユーカリが丘～東京駅・東雲車庫線」のうち、当社が担当する「佐倉ICルート」の運行ルート上にあるDIC株式会社(東京都中央区)運営の川村記念美術館(千葉県佐倉市)が所蔵する絵画を、車両の宣伝広告ラッピングのデザインとして企画したものです。

高速バス車両にラッピングすることにより、千葉県佐倉市内の他に東京駅前や高速道路上でもPRが期待できます。

また、非常にインパクトのある車両デザインに仕上がりましたので、主要停留所等では車両を写真に収めるお客様が多く見られ、大変好評をいただいております。

「広つば帽を被った男」 高速バスの概要は次頁の通りです。



非常にインパクトのある車両に仕上がりました



1. 名 称 「広つば帽を被った男」の高速バス
レンブラント・ファン・レイン(1606-1669)と「広つば帽を被った男」
レンブラントは 17 世紀オランダを代表する画家。バロック的明暗法と巧みな心理描写によって、神話や聖書に基づく主題や肖像画などを手がけたことで知られています。
17 世紀初頭、アムステルダムはヨーロッパの国際商業の中心地として、著しい経済的発展のさなかにありました。レンブラントはここに 1631 年の末頃に移り住み、富裕な商人や聖職者、市政に携わる人々などアムステルダムの市民の肖像画を数多く制作します。この作品もその 1 枚で、モデルの男性はその服装などから、裕福な市民のひとりであったと推察されます。モデルの顔には画面左方から光が当てられ、その生き生きとした表情が陰影豊かに描き出されており、肌や髭・髪の毛、レースの襟や黒い衣裳など、質感をリアルに再現した細部の描写も見事です。
2. 運行路線 マイタウン・ダイレクトバス「ユーカリが丘～東京駅・東雲車庫線」の
ちばグリーンバスが担当する路線及びダイヤ
(平日のダイヤ:土休日は一部ダイヤが変わります)
ユーカリが丘(宮ノ台)5:20発→東京駅6:30着(平日のみ運行)
ユーカリが丘(宮ノ台)8:20発→東京駅9:35着・東雲車庫9:55着
東雲車庫10:25発・東京駅発10:55
→川村記念美術館11:57着・国立歴史民俗博物館12:26着
国立歴史民俗博物館15:00発・川村記念美術館15:29発
→東京駅16:26着・東雲車庫16:46着
(川村記念美術館休館日は経由いたしません)
東雲車庫17:35発・東京駅18:05発→ユーカリが丘(宮ノ台)19:30着
東雲車庫21:05発・東京駅21:35発→ユーカリが丘(宮ノ台)22:50着
ちばグリーンバスの深夜急行バス路線「新橋駅～京成佐倉駅」
新橋駅深夜1:00発→京成佐倉駅深夜3:00着(平日のみ運行)
(点検等により他の車両で運行する場合があります)
3. 車 両 いすゞ自動車株式会社製「GALA」
4. クライアント DIC株式会社(東京都中央区) 川村記念美術館(千葉県佐倉市)
5. お客様のお問い合わせ先
ちばグリーンバス株式会社 佐倉営業所
TEL 043-481-0808 (月～金 9:00～18:00)

以 上